

さめた吐息

この度、LOOP HOLE では、榎倉 冴香・森野大地による2人展《さめた吐息》を開催いたします。

榎倉 冴香は、これまでにポップさと繊細さと弱さと悪趣味とを纏ったシュールリアリスティックな絵画作品を制作してきました。本展では、一転し《Girlfriends》と名付けられた友人のヌードを誠実に描写するドローイングシリーズをメインに発表いたします。「心境の変化があった」と語った榎倉。より確かなものへと向かう欲求と丁寧な時間がアーティスト自身と描かれている友人たちの視線に現れているようです。一筆一筆に延長されたアーティストと友人の親密な時間。それが過ぎ去ったあとの気配が展示空間に漂います。今回、幻臭について新作インスタレーション《phantom odor》を発表する森野大地は、身体のフィジカルな形象と、同時にそれに相反する「不在」の概念の抽出を試みているアーティストです。無いはずの匂いがあるはずの自らの身体が知覚する幻臭。わたしたちの身体が二律背反な立場におかれたとき、それはとても頼りない容れ物に過ぎないのかもしれませんが。この空間では、経験していない記憶が迫ってくるようです。

「リアリティ」と「不在」。榎倉と森野のつくり出す空間では、主体を入れ替えこの問題を繰り返し問いかけます。日々の営み中での出来事が、アーティストの目を通し、逡巡をともなう吐息のように答えをかたちづくってはまた消えていきます。

今年3回目となる展覧会シリーズ《さめた〇〇》は、前回展の作家が次回展の作家を推薦し、企画者の大久保と共に創り上げていく展覧会です。初回の《さめた体温》(2016)の出品者の松田修・山瀬まゆみと大久保がディスカッションの末に昨年の《PLASTIC | さめたはこ》のCOBRA・ヌケメ・森田浩彰の3名を選出し、その内のCOBRA・森田が今回の榎倉・森野を推薦しました。

初回より踏襲されているタイトル《さめた...》には、「社会の事象に対して冷静な視線を持つこと」「偏った情報やイデオロギーに対し冷笑的であること」「集団の中にあつたとしてもその集団の熱に浮かされない意志を持つこと」の意味が込められています。

更に、参加アーティストは、その都度、その時代において必要と思われるアーティストを、アーティストとしての責任において選ぶ、ということを展開会出品と共に請け負っています。

榎倉 冴香

1982 東京生まれ
2005 多摩美術大学絵画学科 卒業

主な個展

2014「榎倉冴香 展」高島屋 NEXT、大阪
2013「eyes and glasses」スプラウト・キュレーション、東京
「あなたに会わなくなってから」H.P.FRANCE WINDOW GALLERY、東京
2010「ピンク・アッシュトレイ」スプラウト・キュレーション、東京
2009「庭と穴掘夫と女の子」スペース 23°C、東京

主なグループ展

2017「NEO-EDEN」金鶏湖美術館、蘇州 中国
2016「ADACHI DELTA」アダチデルタ、東京
2015「NEW BALANCE」gallery CAPSULE、東京
「わたしの穴 美術の穴」space23°C、東京
「Innocence」Temple du gout、ナント、フランス

森野 大地

1995 兵庫県生まれ
2018 武蔵野美術大学造形学部油絵学科 卒業
現在、武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程に在籍中

グループ展

2018「武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展」武蔵野美術大学美術館、東京
2017「武蔵美×朝鮮大×藝大 私とジョニーは無関係だ」武蔵野美術大学 FAL、東京
2016「眺めのよい部屋」TURNER GALLERY、東京

さめた吐息

榎倉 冴香・森野 大地

LOOP HOLE

2018年12月21日(金)
- 2019年1月20日(日)

開廊時間 |

木・金・土曜 14:00 - 18:00
日・祝日 12:00 - 18:00

休廊日 |

12/25 - '19 1/2

会場 |

LOOP HOLE
183-0022 東京都府中市宮西町1-15-13
Tel | 042 401 1633
Url | studioloophole.com/

レセプション |

12月21日(金) 18:00~

トークイベント |

詳細はFacebook《さめた吐息》ページにて
www.facebook.com/events/369082140496263/

企画 | 大久保 あり